諏訪小学校だより No.12　　R5.10.30

学校教育目標　≪本物の【あかぎの心】を育てよう≫

モッテコイ 諏訪小魂！

長崎市立諏訪小学校 校長 山﨑 直人

期待高まる「諏訪っ子くんちフェスティバル」

今年は4年ぶりに「長崎くんち」が開催されました。本校は踊町に囲まれていますから、6月の小屋入りから町の空気が変わったことを感じていました。そして、くんちが近付くにつれどんどん熱く盛り上がってきていました。私たち教職員もワクワクが高まってきて、子供たちが出演する踊町の稽古を見に行ったり、庭見せを巡るツアーを組んで楽しんだところです。

諏訪小の子供たちにとって「長崎くんち」は見る物ではなくて出る物という子がたくさんです。うらやましい限りです。今年の「長崎くんち」に出場したのは次の子たちでした。

万屋町【鯨の潮吹き】
　５年

　４年
　３年
　２年
　１年

本石灰町【御朱印船】
　５年
　３年

桶屋町【本踊】
　５年

船大工町【川船・先曳】
　１年

個人名は
　掲載しておりません

くんち当日が三連休と重なっていたので、4日の人数揃いの日に「鯨の潮吹き」と「阿蘭陀万歳」が一足早く庭先回りに来てくれました。最終日には「御朱印船」がやって来ました。祭日でしたが子供たちもたくさん集まり大いに盛り上がりました。

人数揃いの様子

さて、本家本元の長崎くんちのあとは、待ちに待った本校の「諏訪っ子くんちフェスティバル」です。

顔合わせ会を終え、いよいよ稽古が始まりました。お忙しい中、各踊町の指導者の皆さんが多数集まってくださいます。本当にありがたいことです。その熱意に応えようと子供たちも真剣そのものです。

本番は、11月2日（木）です。

どうぞ多数ご参観いただき、大きな声で「もってこ～い」の声援をお願いします。